

議 会 を 観 て の 生 の 声

6月定例会の傍聴者数のべ44人、ライブ配信再生回数865回 録画配信再生回数255回(7/22時点)

住民と共にある議会になってほしいものです



濱口 政勝さん
(大津町杉水)

私が今回、大津町議会を傍聴した理由は、災害対策について一般質問があると聞き及び兼ねてから関心があった為です。

昔から「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますが近年では「災害は忘れない内にやってくる」、特に幼い頃に近くの親戚の家が土砂崩れで2名が犠牲になる苦い体験をしている事から、集中豪雨の時期になるとトラウマになっていました。

今回傍聴した議員の一般質問は人吉球磨での自己の経験、過去の災害の教訓、専門的知識を駆使した内容の濃い資料と質問で私にとって大変勉強になりました。町の答弁も災害対応の難しさ、課題の解決等全体に具体的な答弁でありました。災害対策はどんな「完璧な計画」を立ててもシナリオ通りにはなりません。住民の代表である議員と行政がお互いに知恵を出し合うことが重要だと思います。残念なことは議会傍聴者が全体的に少ない事。議場も新庁舎建設に伴い設備、施設も素晴らしくなっているので、もっと広報誌やインターネット配信で活動をしっかりと周知啓発を行ってもらい、住民と共にある参加型の議会になってほしいものです。

大津歴史こぼれ話

大津町の文化財のことや、その土地ならではの祭や語り継がれている話を「大津歴史こぼれ話」として、元大津町歴史編纂室長の堀内研一先生（故人）にお願いして、平成18年に明日観（明日の観光大津を創る会）から1,300部発行しましたが、どの位の方にお目に止めて頂けたでしょうか？

「こぼれ話」の中から一つ紹介します。

「大津駅繁昌記」

大津に鉄道が通じたのは、明治41年9月民間経営の軽便鉄道です。（南千反畑～大津室すど口）大正3年6月には廃止され、同日鉄道省宮地線として、熊本～大津間が開通し、現在地に駅舎、待合室、90mの乗降場、線路五線が新設されました。山西村（現西原村）の揺カ池（お池さん）を目指したお客さんが、宇土、八代、人吉、後には大阪、北海道からも団体客が来るようになり、駅前道路も五間幅になり、人力車、箱馬車の構内駐車場を設け、宿屋、茶屋、商店が増々大繁昌の時もありました。

姉妹編大津歴史こぼれ話も準備中です。

「明日観会員 高本 梢」



次回定例会は

9月2日(金)開催予定

(日程は変更になる場合があります)

日程 9月2日(金)～16日(金) (予定)

会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会

編 集:(委員長) 三宮 美香/ (副委員長) 豊瀬 和久
(委 員) 時松 智弘/田代 元気/大村 裕一郎

発行責任者:(議 長) 桐原 則雄

令和4年8月1日 第100号 発行/熊本県菊池郡大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社キャップ

〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

●●●● 編 集 後 記 ●●●●

記念すべき100号発行に携われることに感謝の気持ちでいっぱいです。

改めて創刊号を読み、当時の意気込みを強く感じました。

まずは地方公共団体の意思決定機関としての議会の活動状況を町民の皆様に分かりやすく伝えることです。

そして住民の皆様の見解を行政に反映させる点からも「議会だより」が住民と議会、住民と行政の懸け橋として大きな役割を担っていると再認識しました。

今後も議会だよりに熱い視線をお願いします。

編集委員長 三宮美香